

第52号

本願寺西山別院報

# 久遠

-QUON-

〒615-8107  
京都市西京区川島北裏町  
29番地  
Tel:075-392-7939  
Fax:075-394-4416  
e-mail: nishiyamabetsuin@  
msa.biglobe.ne.jp



ご縁を慶び、お念仏とともに

親鸞聖人御誕生

50  
立教開宗  
800

本願寺西山別院 輪番  
得度習礼所・教師教修所所長  
西山幼稚園園長

中原敬恵



## 諸行無常

新年早々、能登地方において大きな地震があり、人々の生活が一変しました。そして、世界のあちらこちらでは、毎日のようにいのちが奪われる戦争が続いています。

「形あるものは必ず壊れる」

それは分かっている、驚きと悲しみと絶望感があふれてきます。

二十九年、阪神淡路大震災が起こったとき、大きく傾いた実家の本堂を見て「どうなるん？」と思っただけを思い出します。障子一枚外せない本堂から、隙間をくぐって阿弥陀さまを連れ出し、佛具を持ち出したあの日。お陰さまで新しい本堂が建っております。門信徒を始め多くの方が心を寄せ、復興に力を貸してくださいました。

私たちが人間の作り出したものは、



壊れることもあるけれど、復興することも、新しく作り出すことも出来ます。お互いを思いやって少しづつ前へ進めるよう、微力ながら、皆さまと共に寄り添い応援していきたいと思えます。

## 四食の教え

先日、幼稚園関係の研修会の中で、「四食の教え」についてお話を聞きました。「食」というと食べることだけを思い浮かべますが、体と心を成長させ、生命を維持するために必要な物事を食べ物として例えているのが「四食の教え」だそうです。

一つ目は「段食」。これは、いわゆる食事のこと。肉食でも菜食でも「いのち」を頂いて人間としての生活を送らせてもらっていること。いのちを食べた人間は、頂いた「いのち」と共に生きていくのです。

二つ目は「識食」。見る・聞く・味わう・嗅ぐなどから認識し習得すること。相手や物を認識することで、心と体を発達維持する、いわゆる精神の成長。

三つ目は「触食」。人と触れ合い、助け合い、他者と共に生きていくこと。人に助けられることも、人を助けることもあるのが人間であって、「ありがとう」と感謝する心を持つと同時に、「ありがとう」と感謝されることを知ること。

四つ目は「意(意)思食」。私たちの意識や欲求が、心

と体を発達させること。自分の願いと共に、周りの人から、何より阿弥陀さまから願われていることに気づき、自分の「いのち」の大切さを知る。

私を生かすということ、私の「いのち」が生かすという事は、一人では成し遂げられないのだと改めて思いました。阿弥陀さまに願われ、両親に願われて生まれた「いのち」、誰かと触れ合い共に生きる「いのち」、色々なことを学び習得する「いのち」、いのちを頂いて生きる「いのち」。幼児教育としてだけでなく、私たち大人も、人間が操ることのできない「いのち」の大切さと、他者とのご縁のありがたさを感じ取らなければならないというお話でした。

## 世の中安穏なれ

親鸞聖人は「世の中安穏なれ 仏法ひろまれ」とお手紙の中でお書きくださっています。私たち人間は、我執という自己中心性から離れることができません、むさぼり・いかり・おろかさ流され、「いのち」をいきています。そんな私そのままを、阿弥陀さまは願いの中に摂め取ってくださいます。他者もそのままにお互いを認め合い、安らかに穏やかに阿弥陀さまの願いに包まれて生きる。お念仏に耳を傾けながら、共に生きていきませんか？

本年六月に、「本願寺西山別院 親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」をお勧めいたします。一緒に、親鸞聖人がお示しくくださった阿弥陀さまの願いを聴かせて頂きましょう。そして、私の「いのち」を生かすことについて、共に考えてまいりましょう。



**新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)**

南無阿彌陀仏  
「われにまかせよ そのまま救う」の 弥陀のよび声  
私の煩惱と仏のさとりは 本来一つゆえ  
「そのまま救う」が 弥陀のよび声  
ありがとう といたいて

この愚身をまかす このままで  
救い取られる 自然の浄土  
仏恩報謝の お念仏

これもひとえに  
宗祖親鸞聖人と  
法灯を伝承された 歴代宗主の  
尊いお導きに よるものです

み教えを依りどころに生きる者 となり  
少しずつ 執われの心を 離れます  
生かされていることに 感謝して

むさぼり いかりに 流されず  
穏やかな顔と 優しい言葉  
喜びも 悲しみも 分かち合い  
日々に 精一杯 つとめます



**覚祖会のお知らせ**

四月二十二日(月)、二十三日(火)の二日間にわたり、西山別院開基である覚如上人の御命日法要「覚祖会」を修行いたします。

当別院は、本願寺教団の基礎を築かれた上人創設の「念仏の道場」であり、また、上人の御廟所として定められた地です。「覚祖会」は、上人のご遺徳を讃える大切な法要です。お念仏のみ教えが私どもに届いてくださることに感謝し、ご一緒にお参りいたしますよう。皆さまのご参拝を心よりお待ちしております。

**日時: 4月22日(月)**  
速夜法要 / 午後 2時から  
【法要後 法話】  
初夜法要 / 午後 4時から  
【法要後 法話】

**4月23日(火)**  
晨朝法要 / 午前 7時から  
【法要後 法話】  
日中法要 / 午前10時から  
【法要後 法話】

**場所:** 本願寺西山別院本堂

**講師:** 本願寺派布教使 **苗村 隆之 師**  
(京都教区 下西組 正住寺)




**お磨きと  
境内清掃の  
ご案内**

時間内であれば、いつ来られても帰られても、短時間でもかまいませんので、是非ご参加ください。

**境内清掃のご協力のお願い**



**日時:** 4月18日(木)  
9時30分～12時まで  
**場所:** 書院並びに  
覚如上人御廟所  
**受付:** 西山別院南側  
(大玄関付近)

**お磨き(仏具磨き)のお願い**



**日時:** 4月12日(金)  
9時30分～12時まで  
**場所:** 本堂  
**受付:** 本堂前



二月二十三日(金)  
は、西山別院開基  
如上人の祥月命日に  
あたり、本願寺御住  
職の御代香として西  
本願寺の式務部待真  
が来院し、本堂並び  
に覚祖廟(覚如上人  
の御廟所)を参拝さ  
れました。



# 本願寺西山別院開基「覚如上人」 祥月命日 御代香



【覚如上人】(かくによしようにん)  
(二七〇〜一三五二)

本願寺第三代宗主。西山別院開基。  
親鸞聖人の會孫に当られ、親鸞  
聖人の伝記である「伝絵」(御伝鈔)  
や、報恩講の由来となった「報恩講  
私記」など多くのご著作を残され、  
本願寺教団の礎を築かれました。  
当別院境内地の北西には御廟所  
(お墓所)があります。

覚如上人、最晩年に詠まれた和歌  
南無阿弥陀 仏力ならぬ  
のりぞなき たもつ心も  
われとおこさず

従覚上人『慕帰絵』所収

【現代語訳】

南無阿弥陀仏のみ教えに、阿弥陀仏の  
はたらきによらないものはありませ  
ん。たとえ私の(信)心であっても、私が  
自ら起こしたものではありません。

# 除夜会



中原輪番の法話



一年の締めくくりをお寺で



令和五年を振り返り、仏祖の  
恩徳を仰ぐ法要をお勤めいたし  
ました。  
本堂で読経した後は、輪番の  
一打目に続いて鐘を撞きました。



感謝を込めて鐘撞き

# 元日会



正信念仏偈をお勤めいたしました。



令和六年元日七時より、新し  
い一年もお念仏を依り所として  
生きることを改めて御尊前へ  
奉告する法要をお勤めいたし  
ました。



阿弥陀さま、宗祖親鸞聖人に  
新年のごあいさつをいたしました。



法要期日

二〇二四(令和六年)

六月二十二日(土)

二十三日(日)

この度の慶讃法要は、親鸞聖人の説き示してくださった浄土真宗の教えに出遇えたことを感謝し、親鸞聖人のご誕生を祝い、「立教開宗」を慶び讃える法要です。

皆さまお誘いあわせのうえ、ぜひご参拝ください。

本願寺西山別院

親鸞聖人御誕生八百五十年  
立教開宗 八百年

きょうさんほうよう  
慶讃法要  
まで

82日

出遇えた慶びを分かち合おう

6月22日(土)

逮夜法要 午後2時～

初夜法要 午後5時30分～

講師：本願寺派布教使 和氣秀剛 師(奈良教区 吉野西組 圓光寺)

慶讃行事

▶ 稚児行列・子ども参り

午前10時～

要予約

参加対象 2歳～10歳(小学4年生)



▶ ミニライブ&トークショー

参加無料

於：本堂 | 初夜法要に引き続き | 要予約

有名アーティストがやってくる!!

誰が来るかお楽しみ!  
Come On!



6月23日(日)

晨朝法要 午前7時～

日中法要 午前10時～

講師：本願寺派布教使 和氣秀剛 師(奈良教区 吉野西組 圓光寺)

慶讃行事

▶ 文化講座 「本堂を語る」

参加無料

午後2時～

講演 中村 伸夫

(一般財団法人京都伝統建築士協会)

座談会 澤野 道玄を交えての座談会

(株式会社さわの道玄)

▶ 重要文化財 「本堂障壁画八面」 徳力善宗作展示

拝観無料

重要文化財指定【絵第1823号】昭和56年6月9日指定



▶ お茶席

午後1時30分～

於：書院

※懇志一人500円以上  
※事前予約もできます



▶ 謎解きゲーム

参加無料

～謎解きは  
オマイリのあとで～

午後12時30分～

於：境内地

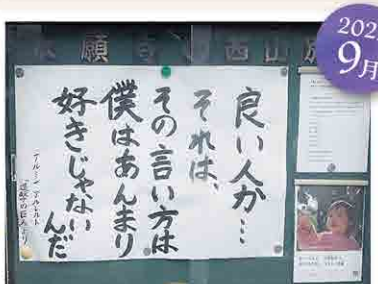
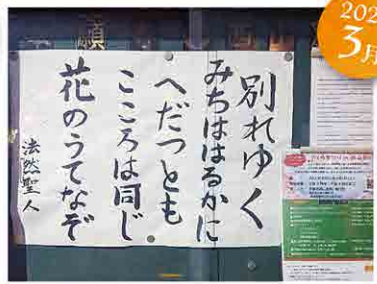
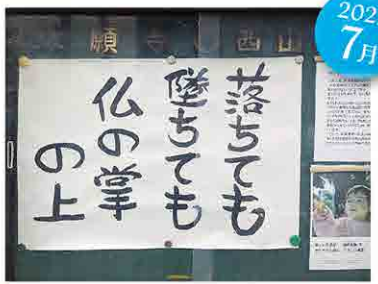


※開催時間・お申込については下記の西山別院ホームページにてご確認ください  
<https://nisiyama-betuin.jp>



# 三つの掲示板

西山別院の掲示板は、東門横、南門横、そして川岡踏切前(東側)の計三カ所に設置されています。東門横掲示板には、仏教語四コマまんがや西山幼稚園からのお知らせ、南門横掲示板には、西本願寺(本山)の行事など、川岡踏切前掲示板には、別院職員が毎月ひとつの言葉を選び、その言葉の解説文を掲示しています。二〇二三年三月から二〇二四年二月までの言葉を記載いたします。道行く人が、掲示板の前で立ち止まり、仏典の言葉、親鸞さまの言葉、人生の導きとなるような言葉をじっくりと見る。忙しい日常にあって、自分の生き方や社会のあり方を見つめ直してみる、そんな大切な時間を提供するきっかけになれば幸いです。





最後の仏参

三月十八日(月)西山別院本堂で西山幼稚園の卒園式が行われました。五十一名の園児たちは、一人づつのさまにお花をお供えして、みんなで最後のお勤めをしました。その後、中原園長から卒園証書を受け取りました。

いつも見守って下さるののさまのことを忘れず、沢山の笑顔とありがとうの言葉を大切に、ほとけの子として成長してくれることでしょう。

# 西山幼稚園

令和5年度

# 卒園式



卒園証書授与



大きくなったよ!



合掌



# 茶道体験

一月二十四日(水)



西山別院書院で、年長組の子どもたちが茶道体験をしました。

最初は緊張していた子どもたちですが、徳田先生にやさしく教えてもらい、お点前さんとお客さんに分かれてお茶を楽しみました。大きくなったときに、幼稚園でお茶を点てたことを思い出し、日本文化を大切にする人に育って欲しいと思います。



裏千家の徳田宗忠先生よりご指導を頂きました。



一期一会のひととき



初めてのお点前



感謝の気持ちで



お抹茶を点てます!



盆点前

# ✈️ インド紀行 佛足に額づいて ⑪

西山別院仏教婦人会会員  
柳瀬千代子



一九八八(仏歴二五三二)年一月二十日〜二月三日  
仏教の開祖である釈尊が、お生まれになり、悟りを開かれ、法を説かれ、入滅された地インド。日本人が古より「天竺」と仰いできたインド。かつては遠い遙かな国「天竺」も今では日本から飛行機で八時間ほど。釈尊の足跡を慕い巡拝された柳瀬千代子さんの紀行文です。

## 一月二十七日

祇園精舎です。サヘトマヘトとインドではこう言います。

サヘト祇園精舎  
マヘト舎衛城のこと

祇園精舎は、熱心な佛教徒となった商人の給孤独長者が黄金をしきつめて手にいれた土地に建てられた精舎といわれています。

又、指鬘外道の家、給孤独長者の家あとも見ることが出来ます。感動です。



祇園精舎



祇園精舎の樹に母子の猿の遊びが見える。精舎の森は、さまざまな小鳥の楽園である。



祇園精舎を佛陀へ寄進した  
スダッタ長者(給孤独長者)の屋敷跡



仏陀ゆかりの地

平家物語の序文に

祇園精舎の鐘の聲

諸行無常の響き有り

かの有名な書き初めの鐘の聲は、静かになり響くであろう。この地の鐘の音でありましたか。

入口でこの地を守っておられるおじいさんなのか、自分の手で作ったこの地の地図をニルピーで売ってくれました。

その中央のあたり多くの僧院あとの中に、ひとときわ高くその入り口に金色の小さなぎぼし様の様に残るその御地が釈尊が阿弥陀經を説かれた地であるといわれます。

全員裸足になり、その御座にすわってティサラナを合唱しました。

Ti-Sarana

Buddham saranam gacchami.

私は佛に帰依いたします。

Dhammam saranam gacchami.

私は法(真理)に帰依いたします。

Sangham saranam gacchami.

私は僧(仏法に基づく共同体)に帰依いたします。

一、道は一すじむねの木の 二、釈迦牟尼佛のましませり

並木をすぎて訪う寺 御座にすわりてティサラナ

祇園精舎の後を今 誦すれば涙 ほほをうつ

幾星霜のああ あとをわれ ああ われ幸の ああ佛子ぞ

心から このうたが出来あがりました。

バスの中で感涙に声もうるみましたが心の底から歌いました。



祇園精舎の花々

## 「令和六年 能登半島地震 災害義援金」の報告と御礼

二〇二四(令和六)年一月一日、石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生しました。この度、継続した被災地の復興支援を目的する義援金のご協力を西山別院新年互礼会並びに楽友会新年会、また本堂の募金箱にてお願いいたしましたところ、お心こもる募金六万円が寄せられました。皆様からの災害義援金は、浄土真宗本願寺派伝道本部社会部(災害対策担当)を通して被災地へ送られます。ご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

POST CARD 6158107  
料金別納郵便  
京都府京都市西京区川島北裏町29  
本願寺西山別院 様  
たすけあい募金領収書 No. 23284  
555種類 災 害 令和6年能登半島地震災害義援金  
金額 60,000円  
令和6年2月29日 上記の通り領収しました  
〒600-8356 京都市西京区川島北裏町29 浄土真宗本願寺派 たすけあい運動部 会  
TEL 075-371-5181(FU)

# 挨拶(あいさつ)

※一ロメモ「挨拶」の漢字、覚えにくい…そんな時は「むやくた」で覚えてみよう

1 おはよう すがすがしい 挨拶だね。 Good!

2 新年度は、新しいので、いまでもあるし、今まで以上に挨拶をきちんとしたいな、と。 挨拶は、おもてなしの心で、仏教用語で、禅宗のお坊さんがお互いの悟りの深さを確認する「挨拶」から「挨拶」は、お互いの心の扉をひらくコミュニケーションの第一歩

3 「挨拶」は、お互いの心の扉をひらく コミュニケーションの第一歩

4 挨拶は、挨拶から始めよう。 MARU

今年も元気にいぞ〜!! GO! GO!! GO!!!

登場人物紹介

水輪 西山光 & くまちゃん 水蓮

# こんな写真あんな写真

今回も別院職員からの別院あれこれ投稿です



団体参拝  
平成26年11月得度習礼生三班



今年も梅が綺麗に咲きました。本堂北側にあるこの梅、毎年西山別院に一番最初に春を届けてくれます。この冊子が届く頃には桜も開花しているはず。是非春満開の西山別院に足をお運びください。



団体参拝  
京都教区仏教婦人会員さま  
令和6年2月7日



団体参拝  
滋賀教区仏教社年會連盟さま  
賞祖廟を参拝されました。  
令和6年2月3日

ご報告  
東川島集会所(南門横の境内地)の建替工事が完了いたしました。東川島自治会により、地域的共同活動の場として運営されます。



集会所



中2階倉庫

## あなたのお便りや写真をお寄せください。

- あなたが体験したうれしかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をどうぞお寄せください。
- 皆さまからお送り頂いた写真を掲載いたします。ご家族、風景、植物、可愛いペットなど

送り先  
〒615-8107  
京都市西京区川島北裏町 29 番地  
本願寺西山別院「久遠お便り」係  
e-mail : nishiyamabetsuin@msa.biglobe.ne.jp

投稿には、お名前(ニックネーム可)、ご住所、お電話番号をお忘れなく。作品は、必ずご紹介できるとは限りません。また、作品のご返却はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。